

(様式1)

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入して下さい。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かして下さい。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名	愛の家グループホーム香芝					
(ユニット名)	青空					
所在地 (県・市町村名)	奈良県香芝市五位堂一丁目341番地1					
記入者名 (管理者)	樋口 真美					
記入日	平成	20	年	10	月	14 日

自己評価票

項目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	○	<p>既に取り組んでいる事に関しては、個人の趣向を尊重する・御家族とのユッタリした時間を安心して過ごして頂く為に、個別レクを提供し、行きたい所へ行き、したい事を楽しんで頂く事を試みています。</p> <p>また取り組みたい事は、もっと地域の中に溶け込み、色々な行事等に参加出来るように考えています。</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	○	<p>毎朝の朝礼時、運営理念とは別に『明るく元気にキッパリと』と唱和し、スタッフ自身が日々を明るく元気に過ごす為に声を出し、朝礼は笑顔で締めくくります。</p> <p>スタッフの元気さ・明るさ・笑顔でこれからも、入居者様の生活を守っていきたくて考えています。</p>
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	○	<p>ホーム内のお祭や敬老会を通し、当ホームからも発信しています。特に夏祭りに関しては、外部から50人強の方が遊びに来て下さり、入居者様・地域の方・御家族のふれあいを楽しまれました。</p> <p>また、地域や他事業所との勉強会や親睦会を行う中で更に地域に根ざしたホーム作りを考えています。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	○	<p>オープンから1年かけて、挨拶を返して頂ける様になり、グループホームが出来た事を不安に思われていた方達も少しずつコチラを向いて頂ける様になったと喜んでます。</p> <p>また、ペットボトルのキャップ集めも、近所の方も参加して下さい、よく持ってきて下さいませ。</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	○	<p>地域の方に向けて新聞を発行したり、散歩の行き来の中で会話をしたりする中で、色々な情報を頂き、地藏盆等の地域行事に呼んで頂いています。</p> <p>今後も引き続き、入居者の皆様が住みなれた地域の中で安心して暮らせる様、行事等の地域活動には努力を重ねたいと思います。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>地域の高齢者が閉じこもりにならない様、当ホームでの行事にも、3ヶ月に1回は老人会にも声をかけさせて頂く様にしています。 また、介護相談の受付も随時行っています。</p>	<p>○</p>	<p>現在は、行事のお知らせを回覧板に挟んでいただいたり、当ホームで行う行事の声掛けをさせて頂いております。 また前記にもある様に、今後は地域の方対象の介護教室の開催も考えております。</p>
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
<p>7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価は今回が初めてですが、半期の自己評価に関しては、チェックシートに基づきチェックを行う事で、出来ている点・出来ていない点を明確化出来、現場で何をどう取り組んでいくかの指標にもなりました。チェックが付かなかった欄に関しての改善もすぐに取り掛かりました。</p>	<p>○</p>	<p>現在、出来ている部分に関しては、今後も引き続き出来ている状態を保っていきたくと思っています。 また、出来ていない点に関しては、今後の努力にかかっていると思うので、現場のリーダー・スタッフと力を合わせ、入居者様や御家族の為に尽力したいと考えております。</p>
<p>8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では、まず当ホームがその2ヶ月で何をしたか・どんな動きがあったか等を発表し、知って頂く事から始め、最後に質疑応答の時間を取っています。質問事項の中に色々なヒントが隠れていたり、アドバイス・要望を頂ける良いチャンスだと感じています。</p>	<p>○</p>	<p>毎回、運営推進会議の議事録を作成し、頂いたケアへのヒントやアドバイス・要望等をまとめ、再度リーダーミーティングやリーダー会議等で話し合い、出来る事から取り組んでいます。 未だ取り組めていない事項に関しては、今後しっかり取り組んでいきたいと考えております。</p>
<p>9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>定期的に市役所に足を運び、運営推進会議以外でも話をする機会を設けています。 チョットした事でも相談に行ったりする事で、お互いにホームの顔が見え、状況が分かって貰えるのではないかと考えています。</p>	<p>○</p>	<p>前回の運営推進会議の際、『これだけの事をして周りに知らせないのは勿体ないから新聞等を写真付きで持って来て』と言って頂いた為、秋号からは写真を掲載する予定です。</p>
<p>10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修で『権利擁護と後見人制度』を受講しました。 その研修で得た事を持ち帰りリーダーに伝えました。 後見人に関しては、入居相談の際希望される方がいらっしゃり少しですが、関わる事が出来ました。</p>	<p>○</p>	<p>御家族様からの申し出があったり、その必要性が感じられるケースがあれば、各機関や本社と相談の上、適切な支援が出来る様尽力します。</p>
<p>11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>本社での研修及び、文書による通達を回覧する事で周知徹底は行っています。 また、何が虐待に当たるのか？等も勉強会で話し合ったり、実際のケアの中にそれに当てはまるものがないかも話し合っています。</p>	<p>○</p>	<p>日常のケアに関しても不明な点や疑問点はすぐに話し合う様にしており、入居者様の状態観察は常に行う様にしており、ふだんと少しでも違う状況状態があれば記録に残す事になっている為、現在まではありませんが、今後も注意を払い、防止に努めます。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいきたい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>4. 理念を実践するための体制</p>			
<p>12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書・重要事項説明書・個人情報使用同意書・重度化した場合における医療連携体制指針等、様々な書式を使い、十分な説明を行っております。また、その際必ず合間合間に質問の時間を設け、分からないまま契約等が進まないよう注意しています。</p>	<p>○</p>	<p>入居前・入居時・入居後もホーム長が窓口となり、不安な事や疑問があった際は、TEL等を使用し連絡をして下さるので、納得されるまで説明をさせて頂いております。ただ御家族も、言いにくい事もありだと思うので、影に潜んでいる大切な想いを引き出すにはどうしたら良いか思案中です。</p>
<p>13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ケアプランを作成する際等のカンファレンスに参加して頂く事もありますし、御家族様に御協力をお願いし、本人様の想いを引き出して頂く事もあります。</p>	<p>○</p>	<p>入居者様によっては、自分の想いを直接訴えられる方もいらっしゃると思いますが、訴える事の出来ない方に関しては、管理者やスタッフもまず信頼関係を築くことから始め、想いを反映出来る様努力はしています。足りない部分に関しては、今後も引き続き努力を重ねる事で、解決出来たらと考えます。</p>
<p>14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>特にお変わりがあれば、ホーム長から・ユニットリーダーから・看護師からと御連絡をさせて頂いておりますが、特に何もなければ、定期のホームからのお知らせ（2～3枚の写真付き）・ユニットリーダー及び居室担当のスタッフからの手紙・入居者様からの手紙（書ける方）の郵送をしております。</p>	<p>○</p>	<p>御家族より、電話やホームに向くには時間を考えたりしなければならぬ為、メールでのやりとりをしたいとおっしゃる御家族様がおられた為、今後他の御家族様にもお聴きし、電話・手紙以外のやり取りの方法として取り入れたいと考えています。</p>
<p>15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情受付ポストは使用された事はありませんが、玄関に備え付けてあり、御家族にも説明はさせて頂いております。また、苦情窓口の説明も入居時にしてあるのと、玄関にも張り出してあります。</p>	<p>○</p>	<p>現在はまだ満床になっていない為、今後満床になった暁には、家族会を立ち上げ、年に2回顔を合わせ忌憚ない御意見が頂ける機会を作りたいと思っています。</p>
<p>16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>カンファレンスや全体会議・勉強会終わり等に、色々と話をする機会を設けております。また、なかなかみんなの前では発言出来ないスタッフに関しても、ホーム長面談やリーダー面談を行う中で、想いや意見を出せる場を作る様、心掛けております。</p>	<p>○</p>	<p>ホーム長面談やリーダー面談でも言い難い事もあると思うので、最低年に2回の食事会を行い、ざっくばらんに話の出来る機会を設けております。報連相ノート・カンファノートを活用し、お互いの意見交換も行っています。</p>
<p>17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>シフトは前月の15日までに希望休を聞いた上で、行事等の予定を組み込み、必要な人員が配置出来る様心掛けています。また、あらかじめ組んだものに対して、突発的に生じた事に対しては、勤務交代を行う等、柔軟に対応出来る様、随時勤務調整を行います。</p>	<p>○</p>	<p>希望休等、絶対に動かせない場合を除き、柔軟な対応の出来るスタッフが多い為、現在は問題なく出ています。夜間の急変や救急対応に関しても、近隣のスタッフが応援で対応出来ています。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>2ユニット共に稼働し始め、入居者様とスタッフの馴染み具合などを見極め、1度ユニット移動を行いました。入居者様の混乱はありませんでした。離職に関しても、今まで数人いらっしゃいますが、スタッフの配慮により入居者に混乱は生じていません。</p>	<p>○</p>	<p>現在のところ、混乱が生じた事はありません。今後も混乱が生じる事がない様にしていきます。</p>
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>ホーム内では、月に2回の勉強会を開き、スキルアップを図っており、また外部からの講師を招き勉強会を行ったり、リーダー研修等を行い、リーダーのレベルアップも図っています。その他、外部の研修会にも積極的に参加しています。</p>	<p>○</p>	<p>全員が当ホームに勤めた事でレベルアップが出来たと感じる事の出来る様、様々な場面で研修や勉強会のチャンスを設けています。また、年に1度は必ず消防署で救命救急の研修を受ける事で、有事にも落ち着いて対応出来る様に勤務調整や声掛けを行っています。</p>
<p>20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他事業所への挨拶回りや、定期的な絵手紙等を通して、他事業所との交流を図っています。勉強会に参加させて頂いたり、行事に参加しあったりと、ネットワークは割と作れていると感じています。</p>	<p>○</p>	<p>電話や行き来の中で、色んな話が出来る状態になって来ている中で、事業所関係なく勉強会を開きたいという声が高まり、実行に移したいと考えている所です。そういった活動をする中で、更にネットワークが広がっていけばと考えています。</p>
<p>21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>休憩時間がちゃんと取れる様、お互いに声掛けを行ったり、中でこもる介護と違い、外出レクを行う事で入居者様・スタッフ互いにリフレッシュを狙っています。また、個別レクを行う事で、普段時間をかけて個別でゆっくり入居者様と触れ合う事の出来ないストレスを解消出来る様に心掛けています。</p>	<p>○</p>	<p>現在は、人がギリギリの状態なので、実現できていませんが、仲の良いスタッフ同士で食事やカラオケ等のストレス発散出来る様な、ゆとりのある勤務体制を作りたいと思っています。</p>
<p>22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>今期より表彰制度が出来（事例研究であったり、より良い取り組みが出来ているホームは表彰される）それをスタッフに伝えた所、賞を目指して頑張ろうとモチベーションが上がった様に思います。また、資格が給与に反映される様になった為、今期以降は資格試験の受験者も増える事が予想され</p>	<p>○</p>	<p>スタッフ1人1人に個性があり、得手不得手も違うので、得手を伸ばし、不得手をフォローする中で、全員が各自の目標に向かって前向きに進める様な体制作りが出来る様、今後も努力していきます。</p>

<p>項目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいきたい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>			
<p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>			
<p>23</p>	<p>○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居されて始めの数ヶ月は、不安の訴えも多い為、特に不安感の強くなる時間帯でもある夜勤のスタッフは睡眠前の時間を使い、お茶でも飲みながらゆっくり・しっかりと話を傾聴する機会を作っています。それを記録に残し、申し送る事でスタッフ全体に本人様の想いが伝わり、1日でも早く快適で穏やかな生活を送って頂ける様温かく</p>	<p>○ 常にリビングに誰かがいる状態を心掛け、不安感が極力少なく済む様な努力はこれからも続けます。また、施設施設した雰囲気ではなく、家庭的な雰囲気になる様な飾り付けも心がけ、紙ではなく、布小物を多く取り入れる事にこだわっています。</p>
<p>24</p>	<p>○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ゆっくりホーム内を御見学頂き、その際不安に感じておられる事や想いをお聴きします。質問があった際には速やかにかつ的確にお答えする事を心掛け、少しでも心の負担なく御利用頂ける様配慮をしています。</p>	<p>○ 見学後のインテークであったり、アセスメントでは、特に時間をかけて、後家族の想いをお聴きする事にしておます。話した事によって、前後でガラッと表情が変わられる方もいらっしゃいます。</p>
<p>25</p>	<p>○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居相談・介護相談問わず、心掛けています。入居に結びつかないケースもありますが、過去の経験や知識を総動員し、本人様及び御家族にとって、どの様なサービスをどの様に御利用されるのが1番なのかを御家族と共に探っています。</p>	<p>○ 大切なのは、本人様の想い+御家族様の想い。そこは、今後も絶対ぶれない様にしたいと考えています。御入居頂いた場合も同様に、しっかりとアセスメントを取り、観察+傾聴でどうサポートさせて頂いたら良いかをまず考えています。</p>
<p>26</p>	<p>○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>御家族や本人様の希望がある場合、お試し利用として、日中送迎付きで雰囲気を感じて頂く事もさせて頂いております。お試し利用を2～3回位繰り返した上で、本人様や御家族様がOKと言う事であれば、入居に踏み切るケースもありますが、過去2～3回御利用頂いた方は全員そのまま入居されています。</p>	<p>○ 自分の部屋があるとはいえ、急に環境の違う中で他人との生活になるので、早い段階で馴染んで頂く事が出来る様、スタッフも関わりを増やし、まずはスタッフとの信頼関係を作る事から始めます。その上で、他の入居者様との橋渡しをしたり、環境作りを行っています。</p>
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>			
<p>27</p>	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>○ ご自分で出来る事はして頂く中で、出来ない所・やりにくい所のサポートをさせて頂いております。また、常に対スタッフという形ではなく、入居者様同士でもカバーし合ったり、役割を見つけてされながらスタッフも色々な事を教わっています。</p>	<p>○ 出来ない事が出来る様になったり、という事は当然の事ながら、特に家事などに関しては昔のやり方や知恵などを教わる事が多くあります。私達は援助者であるという姿勢は持たず、一緒に生活をしている家族と言う感覚を忘れずにいたいと考えています。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>どうしたら、本人様らしい生活がおくれるかを日々考えながら援助をしています。それには、御家族様からの情報が欠かせません。また、どう言う生活をして欲しいと感じておられるのか・何を望んでおられるのかを引き出し、共に笑い、悲しんでいける様、努力をしています。</p>	<p>○</p>	<p>御家族様が面会に来られた際には、普段の生活の様子やチョットしたエピソード等を伝える事で、ホームでの生活をイメージしやすくなればと、会話の時間を持つ様にしています。ちょっとした些細な事を、もっと共有出来る様になればと感じています。</p>
<p>29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>過去の家族関係がどうであったか等の事情は、アセスメントの際に話しに上るので、大切な部分に関しては、現場スタッフに伝え、不快な想いをさせる事のない様、心配りはしています。</p>	<p>○</p>	<p>『ここに入って良かった』と感じて貰える様、面会に来られた際は、御家族水入らずで居室にてお寛ぎ頂ける様援助しています。また、いつお見えになっても良い様に、整理整頓・身だしなみ等も注意しています。</p>
<p>30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>御家族様との外出（ご自宅への）も推奨していますし、御家族様に居室にお泊り頂く事もして頂いても良いですと説明させて頂いています。また、個別レクとして想い入れのある場所や行事への参加もして頂いています。</p>	<p>○</p>	<p>『本人様の想いを大切にする』という事に関して言うと、過去への想いも大切に、現在の馴染みの関係も大切にしなければと考えています。スタッフの出入りが極力ない様、働きやすい環境を整えていく事も大切な援助の一つだと思えます。</p>
<p>31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>入居者様の中にも合う合わないがあったり、自分の意見を言える方・言えない方・耳の遠い方・言葉が出にくい方等色々いらっしゃるの、スタッフが間に入り、孤立しない様に・トラブルにならない様に心掛けています。</p>	<p>○</p>	<p>入居者様同士で、会話を楽しまれていたり、ゲームをされている事もあり、始めは他人同士という感覚が強かった入居者様達も、時間と共に少しずつ自然体になってこられた様に感じるの、更に家族的な生活が出来る様見守りたいと思っています。</p>
<p>32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>退居された方に対しても、誕生日カードを送ったり、御家族様へその後いかが過ごされていますか？と手紙を送ったりしています。また、他事業所に行かれた方に関しては、面会に伺ったり行事にお招きしたりしています。</p>	<p>○</p>	<p>色紙をプレゼントしたり、最後は全員で記念の品を作り渡したりしていますが、他ホームはアルバムを作って渡している所もあり、今後はそういう事もしていきたいと考えています。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>			
<p>1. 一人ひとりの把握</p>			
<p>33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人様や御家族様と話をしていく中で、常にそこは意識しています。以前どんな生活をされていたか・どんな色が好きでどんな食べ物が好きで…本人様を深く知る事で、様々な事が見え、それらが全てケアのヒントになると考えています。</p>	<p>○</p>	<p>個別レクを通し、極力個々の希望が通る様に工夫しています。個別レクを提供する事で、以前にも増して『○○したい』『△△へ行きたい』という希望を口にしてい頂ける様になりました。</p>
<p>34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>本人様や御家族・以前担当されていた介護支援専門員などからの情報を元に、アセスメント表を作成しています。新しく得た情報に関しては、報連相ソートに記入し全スタッフに情報が行き渡る様にしています。</p>	<p>○</p>	<p>個別レクの時間や夜勤帯等に、本人様の生活暦や思い出・昔話に寄り添える時間をゆっくり取り、その人らしさを更に探っていけたらと思っています。</p>
<p>35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>1人1人の過ごし方や状況状態に関しては、細かく記録に残ると共に、日々の生活の中で『この方はこの時間はこう』という流れが、スタッフ自身しっかり把握出来ていると感じています。</p>	<p>○</p>	<p>有する力に関しては、適時適切に判断しながら、出来る事はして頂くというスタンスで積極的にアプローチする事で、極力現状維持をはかれる様、努力しています。</p>
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>			
<p>36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>御家族様に関してはお忙しくされている事もあり、なかなかカンファレンスに参加して頂く事は出来ませんが、プラン作成時は、本人様と色々な話をする中で決めています。</p>	<p>○</p>	<p>何がしたいか？残り時間をどう生きたいか？という事を大切に、本人様らしい生活を送って頂ける様に目標の設定を行います。また、本人様の意見を十分に反映する事で、本人様の生活に即した目標になると考えています。</p>
<p>37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>現在、そういったケースはまだありませんが、今後そういうケースがあった場合には、随時対応したいと考えています。</p>	<p>○</p>	<p>日々の記録もそうですが、ケアプランにおけるモニタリングの結果によっては、再アセスメントを行い、現状に即したプランの作成をするべきだと考えています。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいきたい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケア日報に関しては、状況状態をそのまま記録しますが、ケース記録に関しては、日々の援助の中で、ケアプランを強く意識出来る様に、ケアプランの内容にそって日々の観察を行う様にしています。 その援助を踏まえどうだったのか等をモニタリングに残したり、次のプランに活かします</p>	<p>○</p>	<p>ケアプランの目標を短期・長期それぞれで達成する為に、どう援助したら良いのかをスタッフ全員に周知が図れ、その上で状態の経過も良く分かるので、今後もケース記録へのケアプランに準じた内容の記録は続けたいと考えています。</p>
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>			
<p>39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>御本人様や御家族様の希望であっても、グループホームの単体では、全てを叶えるのには無理があるので、『多機能性に応じた』という箇所の意図する事が今一分かりませんが、御家族からの要望や申し出があった場合、グループホームで出来る範囲内ではさせて頂いています。</p>	<p>○</p>	<p>グループホームでの限界を理解した上で、出来る限りの努力はしていきたいと考えています。</p>
<p>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</p>			
<p>40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>消防訓練は必要性が高い為、半年に1回は必ず行っています。 また、実現はしていませんが、幼稚園・保育園・小学校が近くにある為、様々なアプローチはかけています。</p>	<p>○</p>	<p>美術館や図書館等に行ったりはしていますが、教育機関との連携は未だ取れていません。 今後も引き続きアプローチはかけ続けたいと強く感じています。</p>
<p>41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>グループホームなので、グループホーム以外の介護サービスの必要性のある方はいらっしゃいません。</p>	<p>○</p>	<p>当ホームでの対応が困難であると認められる事があれば、関係機関等と連絡調整の上、協力はさせて頂きたいと思っております。</p>
<p>42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>権利擁護やケアマネジメント等については協働していませんが、運営推進会議に関しては毎回ご案内させて頂いています。</p>	<p>○</p>	<p>当ホームの取り組みについて等、もう少しアピールをしていきたいと感じております。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいきたい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>当ホームでは、全員の方がホームドクターの受診を希望されたので、通常受診に関してはホームドクターで対応させて頂いています。他科受診の場合のみ、御家族様が対応されますが、必要があればホームドクターにお願いし、紹介状を書いて頂いたりという出来る限りでの協力はさせて頂いています。</p>	<p>○</p>	<p>熱発時等、何か変わった事があれば時間問わずすぐに往診に来て頂けるか電話での指示が頂ける為、御家族様も皆様納得の上です。ただし、今後かかりつけ医でないと言うケースがあった場合には、対応させて頂きます。</p>
<p>44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>日常のケアの中や、ドクター及び御家族様との会話の中で、受診の必要性があると判断された場合には、専門医のいらっしゃる病院受診の支援もさせて頂いています。</p>	<p>○</p>	<p>専門医に、専門的な診断を下して頂く事で、何性のどんな種類の認知症なのかがハッキリすれば、疾病名によってスタッフも対応の仕方が変わるので、場合によっては必要な事だと感じています。</p>
<p>45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>週に2回看護師が出勤し健康管理を行っています。看護師もケアスタッフと同じ服装と一緒に食事をしたりおやつを食べたり会話をする中で、違和感なく溶け込んでおり、入居者様も、気軽に健康相談が来ています。</p>	<p>○</p>	<p>配薬やホームドクターとの橋渡しや薬局との連絡調整もして貰っています。また、報連相ノートへの重要事項の記録や、看護記録により、入居者様の健康状態の把握がしやすくなりました。</p>
<p>46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院された場合は、頻回にお見舞いに行き、現在どういう状況かを担当医に伺います。御家族を交えて話をを行い、退院の目処や早期に退院する為の目安を聞いておくと共に、退院後の生活に必要な注意事項の確認等を行い、退院に備えます。</p>	<p>○</p>	<p>ホームドクターが連携をしている病院があり、通常はそちらに搬送になりますが、担当MSWとの連携は欠かせません。退院までの期間の確認をし、それ以上長くない様、力づけの意味も含め、お見舞いはホーム長・スタッフが入れ替わり立ち代りで頻回に伺います。</p>
<p>47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>まだそういうケースはありませんが、重度化した場合における医療連携指針によって、事前に説明はしてありますが、早期に対応し、必要な時期に必要な医療が受けられる様、話し合いを行うと共に、出来る限りの援助を行います。</p>	<p>○</p>	<p>医師・看護師・ご本人様・御家族様と事業所の間で話し合われた情報を元に、ホームとしてどのように対応すべきかを適時適切に判断し方針や想いを共有します。</p>
<p>48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>まだそういうケースはありませんが、ホームドクター・看護師を含め、私達で出来る援助があれば、チームとして同じ見解の下支援させて頂きます。</p>	<p>○</p>	<p>出来る事・出来ない事の見極めや線引きはとても難しい事ですが、私達の出来る範囲での協力や支援はさせて頂きたいと考えております。一度家族として受け入れた方ですので、限界はありますが、最大限の努力はしたいと感じております。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>過去の生活歴や当ホームで生活されていた状況等に関しては、次に行く先の施設に対してサマリーを作成すると共に、説明に伺います。私達にしても、大切な家族を預けるのと同じなので、私達に出来る限りの協力をする事で、本人様のダメージが極力すくなくなる様努めます。</p>	<p>○</p>	<p>建物の作り・ユニットの雰囲気・部屋の状況や状態・周囲の人・スタッフ…全てが異なる所に移られる事によるストレスは大きいと思うので、性格や気質等についても事細かくお伝えした上で、質問があれば伺い、引継ぎを行います。</p>
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>私達よりも長く生きてこられた人生の先輩として敬い、尊重する様、心掛けています。記録等の個人情報に関しても、開きっぱなしにしない・すぐ閲覧出来る状態で保管しない等、気を付けています。</p>	<p>○</p>	<p>オープンから1年が経ち、馴染みの関係が出来てくると、少しずつ言葉遣いが乱れたりもしやすいですが、今後は更に敬う心を忘れず、心穏やかに生活して頂ける様細心の注意を払いたいと思っています。</p>
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>『○○ですか?』等と、最後に『か?』をつける事で自己決定権の尊重を心掛けています。小さな事でも自分で決める事から自立は始まると考えるからです。分かる様に声をかけ、理解して頂いた上で、自己決定をして頂く事は、難しくもありませんが、とても大切な事の1つだと思います。</p>	<p>○</p>	<p>個別レク等『楽しい』『良かった』と言う体験をされると、自然と『次はこうしたい』『今度は○○へ行きたい』という言葉が出ます。その、笑顔と共に出てくる言葉を聴きたくてまた個別レクを提供していますが、それが結局はしたい生活につながっていている様に感じます。</p>
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者様が第1ということに関しては、全スタッフに周知徹底しています。他の入居者様の介助中で『チョット待って下さい』はあっても、スタッフの都合ではあり得ません。今したい・今行きたい・今話したい等、その方にとっての『今』を大切にす為にも、その方の暮らしやすいペースを乱さない様、努力をしています。</p>	<p>○</p>	<p>散歩や行事なども、参加したい・したくないという自己決定をして頂いたり、○○が欲しい・△△に行きたいという事を1つずつ大切にす事で、その人らしさが見え、少しずつ引き出し、大切にしたいと考えています。</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>理美容の行きつけがある方は御家族と共にそちらに行っている様ですが、御家族もお忙しく、ホームに来て頂いている理容師さんにして頂いている方がほとんどですが、元々決まっていなかった方も多く『ここは行かんで済むからええわ』とよく話されています。</p>	<p>○</p>	<p>中で散髪される方も、パーマに関しては美容師さんという事で、御家族と共に行かれる方もいらっしゃる様ですが、段々面倒になってくる様で、『行くのいらんからもうパーマはええわ』とおっしゃり現在はやめて折られます。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいきたい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>その方に合わせた大きさ・硬さ・形状に整えさせて頂いています。おにぎりにしたり、とろみをつけたり刻んだりする事で、全量摂取されます。また、月に1回の外食も皆さん楽しみにされています。調理・準備・片付けも出来る所を少しずつお手伝いしています。</p>	<p>○</p>	<p>月に何度かは『粉もんパーティー』を行います。安全確認を常に行いながら、皆さんで鉄板の回りに集まって、焼きそば・たこ焼き・お好み焼き等を行います。レクにはなかなか参加されない方も、ミニ調理やスイーツ教室には喜んで参加されています。</p>
<p>55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>タバコに関しては、喫煙所にて楽しんで頂いています。お酒は以前は飲まれる方もいらっしゃいましたが、現在はいらっしゃいません。飲物やおやつに関しても、ホームで手作りの物をお出ししますが、希望があれば買い物に行き個別で召し上がられます。</p>	<p>○</p>	<p>既往歴によっては、希望されてもなかなか添えない事もありますが、極力満足して頂ける様、御家族様と相談しながらサポートさせて頂いています。</p>
<p>56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>1日の内、何時に何をされたかというデータを取ることで、排泄パターンの把握を行っています。それによって、オムツをつけなくても良くなった方や、一応付けておられても、トイレ排泄が可能になった方もおられます。</p>	<p>○</p>	<p>排便に関しても極力薬に頼らない排便が出来る様、水分の摂取量のコントロールや、運動療法・腹部マッサージ・毎朝のヨーグルト等も取り入れています。健康的な生活をして頂く為の工夫は、今後もあれこれ頑張っけて続けていきます。</p>
<p>57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴に関しては、極力その方の入りたい時に入ってもらえる様心掛けてはいますが、虹ユニットの場合、皆様が入浴好きで、誰が1番か2番かで毎日揉めるので、仕方なくじり引きと言う方法を取っています。入浴を楽しみにみなさん毎日入られています。</p>	<p>○</p>	<p>特定の方ばかりが1番や2番にならに様、クジの引き方も工夫を凝らして、色んな方法でやっています。数回やってみてまずい所を改良して、全員が納得とはなかなかいきませんが、努力はしています。</p>
<p>58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>睡眠に関しては、早い方は19時位～お休みになられます。大体20時位を目処に皆さん居室に戻られお休みになられますが、中には22時位までは起きておられる方もいらっしゃいます。気持ちよく、質のいい睡眠を取って頂ける様、毎晩眠前のホットミルクは欠かしません。</p>	<p>○</p>	<p>日中、散歩やドライブ・レク等で、心地良い疲労感を味わって頂くと、割と夜間はスッと眠られます。眠前薬を使用される方もいらっしゃいますが、睡眠に関しては、みなさん良く休まれています。</p>
<p>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</p>			
<p>59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>その方の趣味・嗜好を大切にレクも選択しています。書道の得意な方は先生役をして頂いたり、歌の得意な方には、カラオケで活躍して頂いたり、話の好きな方は、夜間ゆっくり1対1で会話をしたり、皆さんそれぞれ楽しみや気晴らしの方法が異なりますが、極力対応していています。</p>	<p>○</p>	<p>個別レクもそのひとつですが、皆一緒に同じ事を一斉に行うのが嫌な方も多く、その方その方の好みに応じた対応をすると、とても喜ばれます。気持ちよく日々を過ごして頂くには、とても大切な事だと感じています。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>通常お小遣いに関しては、事務所の金庫預かりになっていますが、ご本人様の希望があれば、スタッフはその方の財布を持ち、買い物に行きます。 行った先で、お金のカウントが出来る方に関しては財布を渡す事もあります。</p>	<p>○</p>	<p>人によっては、財布を渡すと全額使ってしまうおとされる方もいらっしゃる、御家族の希望で、財布は渡さないという方もいらっしゃいます。その方に応じて使っています。</p>
<p>61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>『外が好きやねん』というユニット理念の通り、散歩は毎日(天候によって)出かけますし、ドライブや買い物等にも随時出掛けています。 当ホームに関しては、外出しない日の方が少ないくらいです。</p>	<p>○</p>	<p>例えば1人の方が買い物に行きたいと希望された場合、他の入居者様にも一緒に行きたいかお聴きし、希望の方と一緒に出かけます。 花見等も毎日コースを変え、出掛けています。</p>
<p>62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>個別レクの提供をしています。 過去1年間で暖めて来た企画を、御家族と御相談しながら進めてきて、今期～始めました。</p>	<p>○</p>	<p>映画を観に行ったり、カラオケ・遠方へのドライブ・電車に乗って百貨店で買い物…等、入居者様1人1人の御希望をお聴きし、御家族と相談しながら、計画を実行に移します。 ケアプランにも組み込み、極力入居者様の希望を叶えられる様努力していきます。</p>
<p>63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>手紙に関しては、書ける方には声をかけ、書いていただいています。 また、今期より書けそうな方には月1回のホームから御家族様へのお手紙と一緒に本人様のお手紙も添えて届ける様、声もかけています。</p>	<p>○</p>	<p>電話は、ご自分からかけたいと訴えられる方は少ないですが、かけたい方には援助させて頂いています。 ただ、スタッフが側にいない間にご自分でかけられ、使い方が分からずかからなかったり、間違い電話をしてしまう事もあり、試行錯誤しています。</p>
<p>64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>入居前の説明の際にも、いつ来て頂いても、お泊り頂いても良いという事はお伝えしています。 御家族やお友達が来られ、お話をされる時間や、一緒に外出される事は本人様にとっても大切な時間だと思うので、外部からの訪問の機会は大切にしています。</p>	<p>○</p>	<p>御家族の中には、自分達が泊まる時の為に、布団を持参される方もいらっしゃいます。 本人様が嬉しい事であれば、危険が伴わない限りは止めたり禁止する必要もないと考えていますので、今後もドンドン来て頂けたらと考えています。</p>
<p>(4) 安心と安全を支える支援</p>			
<p>65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束を行わないケアに取り組んでいます。 何が身体拘束になるのか? どうしたら身体拘束をせずに対応出来るか?等その都度話し合う様にもしています。</p>	<p>○</p>	<p>今後も、身体拘束は行わない事を前提に、ケアに取り組んでいきます。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>玄関の鍵に関しては、このホームを建てる際、オーナーと近隣住民との間で玄関の鍵はかけるとい取り決めがあるとの事で、させて頂いています。ただ、鍵を掛けない事の大切さはよく理解しているので、ユニット間のドア等は鍵はかけず、扉も開けず開放的な雰囲気を味わって頂いています。常に全員の所在確認は行う様にしています。居室に入られる際も声を掛け合う様にしています。居室内で寛いでいらっしゃる際は、時々様子を伺いに行かせて頂く位しか出来ないの、常に居室内の安全対策・安全管理を行う様にしております。</p>	<p>○</p>	<p>居室の鍵に関しては、20cm位で止まる様にしております。これは、床面と外の地面との段差がかなりあり、居室でお一人の際廊下にでると間違えて転落される危険性をなくす為です。</p>
<p>67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>押しピン等は使っていませんが、はさみ・爪切りに関しては、スタッフが側にいる状態でお使い頂いています。洗剤や柔軟剤等も誤飲があってはいけないので、使用時以外はお預かりさせて頂いています。</p>	<p>○</p>	<p>先日、居室内での転倒で骨折された(夜間)事もあり、居室にいらっしゃる間の安全管理に関しては、まだまだ試行錯誤中です。</p>
<p>68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>防災については、以前スタッフの勉強会を行いました。また、緊急時の対応に関しても、全員が消防署に行き研修を受けさせて頂いています。</p>	<p>○</p>	<p>たばこ・ライター・等も、以前はたばこのみご自分でお持ちになっておりましたが(ライターは初めからお預かりでした)スタッフが関知しない内にライターを御家族から貰われ喫煙所以外で吸っておられた事があり、こちらでお預かりしています。</p>
<p>69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>上記にも記入した様に、全員が消防署の救命救急の講習を受けています。また、1年に1度は行く事しているので、オープン後すぐに行ったスタッフは、そろそろまた研修に行きたいと思えます。</p>	<p>○</p>	<p>事故防止に関しては、ひやりハット事例もあげ、今後同じ様にひやりとする事がない様にする為にはどうしたら良いかを話し合う等し、意識を高めています。</p>
<p>70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>消防訓練も、年2回実施しています。前期に関しては、1回は通報訓練・1回は総合消防訓練を行いました。今後も、年2回は行います。</p>	<p>○</p>	<p>スタッフが、万が一の時に慌てず対応出来る様、知識・技術を得るのはもちろんの事、ユニットリーダーやホーム長は、更にひとつ上の研修を受けに行く事を検討しています。これに関しては、消防署にも相談済みです。</p>
<p>71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>近隣の方々に関しては、協力が得られるかは疑問が残りますが、近隣に住むスタッフが駆けつける様にはなっています。</p>	<p>○</p>	<p>消防訓練も、年2回実施しています。前期に関しては、1回は通報訓練・1回は総合消防訓練を行いました。今後も、年2回は行います。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>入居前にそういった話をした上で、注意して欲しい点等をお聞きしています。 ある程度はご自由に動いて頂きながら、安全に過ごして頂けるよう、日々細心の注意を払っております。</p>	<p>○</p>	<p>高齢でかつ認知症がある場合、リスクは上がりますが、考え得る範囲での工夫をする中で、安全に暮らして頂ける様努力をしております。</p>
<p>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</p>			
<p>73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>日々の支援の中で気付いた点や気になる点は、必ず報告・連絡・相談しあう様、周知徹底しています。 報連相ノートを使ったり、朝礼やカンファレンスの場等、様々な場面で意見交換を行い、変化がハッキリする前に気付ける様、全スタッフが気を配っています。</p>	<p>○</p>	<p>少しでも異変がある場合は、必ず申し送る様にしており、また何もなくても気に係る所があれば、申し送ると共に記録に残す様にしています。</p>
<p>74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の作用・副作用に関しては、勉強会で取り上げました。 また用法用量に関しては、基本的な薬を一覧表にし誤薬のない様工夫しています。</p>	<p>○</p>	<p>新しく加わった臨時薬に関しては、報連相ノート等で、看護スタッフ・ケアスタッフの連絡を徹底しています。 また、薬が変わった際等も状態変化を気にする様努めています。</p>
<p>75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>便秘に関しても、勉強会で取り上げました。 その上で、水分摂取量であったり、運動量等も気にしながらコントロールをしています。</p>	<p>○</p>	<p>調理スタッフも便秘に関して気にかけており、薬に頼り過ぎない様、食物繊維をどうしたら食べやすく美味しく摂取して頂けるかと、日々工夫しています。</p>
<p>76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後の口腔ケアは、よっぽど何かない限りは施行しています。</p>	<p>○</p>	<p>極力ご自分でして頂ける様、声かけ・見守りの上、必要に応じて援助しています。 また、週に1回は歯科医の往診がある為、管理は出来ていると考えています。</p>
<p><u>77</u> ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>その方々によって、好き嫌いやそれまでの習慣・嗜好等それぞれなので、各個人の好みに極力添える様にと考えています。 顔色や肌の状態・体重等を日常的には指標として考えています。</p>	<p>○</p>	<p>糖尿病などの疾病をお持ちの方に関しては、制限がかかってしまう場合もあり、確実に応じられるわけではありませんが、栄養所要量や1日のトータル水分摂取量等に関しては、特に気を付けています。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）</p>	<p>事故・感染症対策マニュアルがある為、何かの時は参考にします。 また、流行り始める前に本社より対応策や注意点等の連絡が来る為、その通りに実施しています。</p>	<p>○</p>	<p>疥癬に関しては、感染が認められる場合は入居が出来ない事になっているので、感染した状態で入られる事はなく、今の所、他の感染症に関してもどなたも罹患された事はないので、実行に移した事はありませんが、今後もない様努めます。</p>
<p>79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>調理場の掃除には漂白剤を用いたり、手洗い消毒を遂行したり、食器類の消毒をしたりと、食中毒の菌などが蔓延しない様、細心の注意を払い、努力をしています。</p>	<p>○</p>	<p>食材も、安全に保管が出来る様、食材の特徴に応じた管理方法を取っています。 買い物についても、現在は火・金で農家から野菜を仕入れ、日・水でスーパー等へ買物に行っています。</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり</p>			
<p>80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>玄関に関しては、スロープと通常の玄関床面の段差がある為、危険だと認識しやすい様、境目には黄色のテープを貼っています。 置物を置いてみる等若干の工夫はしております。</p>	<p>○</p>	<p>親しみやすい様にといい事で、畑で野菜を育てたり花を植えたりという工夫をしています。 入居者様でお好きな方がいらっしゃるの、その方がされるのですが、最近は野菜のみに一生懸命になっておられ、花の方は手入れが出来ていないので平行して取組みたいと考えています。</p>
<p>81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者様と共に掃除をしたり、スタッフのみで掃除をする以外に、手作りの作品を飾ったりする事で、殺風景な白い壁ではなく、生活観をだしています。</p>	<p>○</p>	<p>音や光に関しては、敏感な方もいらっしゃるの、声かけをする中で、不快感を持たれない様な心遣いはしています。 また、明るさ・室温などについても、個人の感覚を大切にしている様にしています。</p>
<p>82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>それぞれが、リビング・和室・ソファ・廊下突き当りのイス等を利用し、思い思いに過ごされています。 誰かと一緒にという事は、余り好まれません、食事やおやつは一緒に頂く事が多いです。</p>	<p>○</p>	<p>狭い空間の中に、色んな価値観や感覚や考え方がいらっしゃる為、トラブルの種はどこにでもあります、極力ゆったりと気持ちよく生活して頂ける様、工夫しています。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時には、本人様のご自宅で使われていた家具 や衣類・アルバム・食器等をご持参頂ける様に話 をしています。 それによって『自分の部屋』という感覚を持ちや すくなるのではと考えているので、大切な空間と 捉えています。</p>	<p>○</p>	<p>引越しの際、本人様や御家族様が今までの慣れ親 しんだ部屋に近くなる様に配置されますが、特に 夜間のトイレ等の事を考えられ、割とガランとし た部屋になりやすいのも現状なので、どう愛着を 持って頂けるか、これからも追求していきます。</p>
<p>84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている</p>	<p>入居者様によっては、ご自分で朝昼晩と換気され る方もいらっしゃいますが、通常はスタッフの方 で朝の窓を開けての換気等はさせて頂いていま す。 また、24時間換気システムを使用しています。</p>	<p>○</p>	<p>ある程度の気温差に関しては、服を着たり脱いだ りする事で調節して頂く事によって、季節感を感 じて頂くのも大切だと感じておりますが、その方 の感覚によって寒い・暑いも変わるので、個別で の対応を気を付けています。</p>
<p>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>			
<p>85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している</p>	<p>ホーム内はバリアフリーになっている為、安全な 生活を送りやすくなっていると思います。</p>	<p>○</p>	<p>工夫している点に関しては、玄関の段差には黄色 いテープを貼ってみたり、キッチンのカウンター 部分の角には当たっても痛くない保護材を貼っ てみたりという工夫はしています。</p>
<p>86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している</p>	<p>表示の方法や場所の認識など個々で違う為、色ん な方法を用いて、部分的だったとしても極力自立 した生活を送れる様工夫しています。</p>	<p>○</p>	<p>今現在は、今の方法で対応出来ていますが、今後 また色んな症状や機能低下が起こってくる事が予 想できる為、その都度カンファレンスをする等 し、本人様・御家族さまの希望に添った暮らしが して頂ける様支援したいと考えています。</p>
<p>87 ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている</p>	<p>庭に出るには靴に履き替える必要がありますが、 テラスにイスを置き、外の風景や子供たちの声 を楽しめる様にしています。</p>	<p>○</p>	<p>隣に幼稚園・小学校がある為、日中は風に乗っ て子供たちの声が聞こえてくるので、声を聞いて 楽しめたり、庭の野菜を観て楽しめる事があ ります。 もっと有効に活用出来たらと思いますが、良い方 法を思案中です。</p>

V. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

I、中に閉じこもって生活をするのではなく、社会的機能の低下を防ぐ為にも、出来るだけ外とのつながりを保つ為にもほぼ毎日外出をします。

II、どんな状態の方がご入居されても、その方の『その方らしい』生活を送って頂く為に、したい事をして頂ける環境を整える努力をしています。

III、個別レクを通して、入居者様・スタッフ・御家族とがゆっくりと話が出来る等、より深いコミュニケーションが取れる機会を設けています。

IV、スタッフへの勉強会を定期的に（月1回以上）行う事で、スキルアップが図れる職場作りを心掛けています。

V、介護福祉士等、資格取得に向けてのサポートを行っています。

VI、入居者様に対しての対応時は、常に『自分が大切な人がそうされていたらどう思うか？』を考えて、言葉使いや対応を振り返り反省出来る機会を作っています。

VII、誕生日の日ジャストにお誕生日会を行ったり、月1回以上は行事を行い、御家族の方が来て頂けるきっかけ作りをしています。

VIII、月1回は必ず、本人様から・ホームから・担当のスタッフやユニットリーダーからの手紙（日々の様子等）を郵送させて頂いています。

IX、お客様アンケートを行い、アンケート結果を公表した上で、要望に添える様、実行に移します。